

お散歩見学会

神奈川研究会はマイテーマを研究する会員が1年に一度、成果を発表し議論する研究会である。ただ、この2年はコロナ禍の影響でオンライン開催のことが多く、楽しみに欠けることもあった。そんな中で、昨年11月と本年5月はちょうど陽性者数が下火になったこともあって、年2回の恒例の見学会が開催された。例年だと施設の見学が多いのだが、この2回は主にオープンエアでの散策と1ヶ所の展示施設の見学というプログラムであった。

関西生まれで、就職で神奈川県に越して来て60年近くになるが、東京や横浜のディープな歴史はよく知らない。おそらく祖母や両親からそのようなことを聞くことがなかったからだろう。そのため11月の高輪―品川散策も5月の横浜馬車道散策もとても楽しく過ごせた。

高輪では、日本初の鉄道の高輪築堤発掘現場と旧日本通運の資料館が印象に残った。いずれも、先人たちが知恵と努力を絞って時のニーズを満たそうとした跡がまざまざと残っていて感動した。特に、乗用車やトラックなどなかった明治初期に汽車を走らせ、馬車でものを運ぶ商売をシステムとして成り立たせた点は、驚きでもあった。

横浜散策では、旧富士銀行、旧銀行協会、旧三菱銀行、旧三井銀行や近代街路樹発祥の地、電信事業発祥の地、アイスクリーム発祥の地などを訪れ、明治の横浜が時代の最先端を行っていたことが分かり、認識を新たにした。

このような活動に参加していると、次回の研究発表の調査を進める意欲も湧いてくるから不思議なものである。来年の発表調査も頑張ろうと思う。

(神奈川研究会 宮本公明)